



大阪大学中之島センターONCのオープン

菊 野 亨*

“Invitation to Osaka University Nakanoshima Center”

キーワード：産学連携，知的情報，社会人向け大学院，社会とのインターフェイス

Key Words：Industry-university cooperation, Intellectual information,
Graduate school for working professionals, Interface to the society

1. 大阪大学の夢(=ONC)

大阪大学中之島センターの竣工記念式典が本年4月27日(火)午後，大阪市北区中之島4丁目に建てられた中之島センターの10階で行われました。記念式典では宮原秀夫総長のあいさつに続いて，大島寛文部科学省施設企画技術参事官と熊谷信昭大阪大学元総長(中之島センター設立募金委員会の委員長もお務め頂きました)から来賓祝辞が述べられました。引き続き，4月28日(水)，29日(木)には「源流・先端・夢」をメインテーマとして竣工記念講演会が開催され，多くの参加者をお迎えすることができ，良いオープニングとなりました。

さて，大阪大学中之島センターを英語で表記するとOsaka UniversityNakanoshima Centerとなりますので，ロゴマークをONC(図1)と決めております。この記事の中では大阪大学中之島センターのことを中之島センターONC，あるいは単にONCと略記することに致します。事務室の連絡先はTel：06-6444-2100，Fax：06-6444-2338，URL：http://www.onc.osaka-u.ac.jp/ などとなっております。

大阪大学にとりまして，この中之島センターONCの建設はその構想から数えますと実に24年間にも及んでおり，本当に一大事業でした。始まりは「阪大会館」の建設構想であったと聞いております。大阪



図1 大阪大学中之島センターロゴマーク

大学50周年記念事業として取り組まれましたので，1981年のことでした。それから18年後には西暦2000年を目前にして，「大阪大学21世紀ドリームプラン」(1999年)が発表されました。その中で，中之島センターの基本機能を教育・研究機能，社会への情報発信機能，社会との交流機能の3つにすることが報告されています。

2001年には大阪大学70周年記念事業の1つとして「中之島センター設立構想」をまとめると共に，設立募金活動が開始されております。丁度，同じ時期に文部科学省が「キャンパス・イノベーションセンター」(当時は「ナショナル・イノベーションセンター」と呼ばれていた)を整備する計画が発表され，キャンパス・イノベーションセンターを合築する形で中之島センターを建設することが決定されました。

ここでは，紙面の制限もありますので，学内に設けられた委員会の名称を挙げるにとどめますが，中之島センター建設という夢の実現に向けてご尽力頂いた多くの関係者に対して御礼を述べたいと思います。

■「中之島センター(仮称)建設委員会」(1991年8月)

■「中之島センター設立募金委員会」(2000年)

お陰様で，地上10階，地下2階建ての中之島センターONCが建設できました(図2)。

こうした施設の建設と共に，完成した中之島セン



* Tohru KIKUNO

1947年9月生

1975年大阪大学大学院・基礎工学研究科・博士後期課程修了

現在，大阪大学・大学院情報科学研究科・情報システム工学専攻，教授，工学博士，ディペンダビリティ工学

TEL 06-6879-4535

FAX 06-6879-4539

E-Mail kikuno@ist.osaka-u.ac.jp

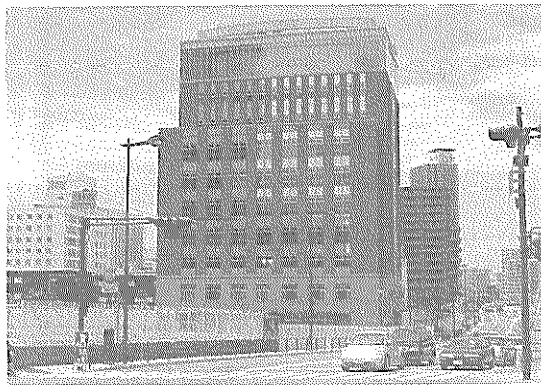


図2 大阪大学中之島センター

ターONCの利用方法についての具体的な検討も開始されました。その結果、中之島センターに同窓会、後援会の会員へのサービスを意識したヘルスケア・クラブ、交流サロンを設置すること、レストランを誘致することなどが決定されています。

2. ONCの魅力

2.1 アドレス(中之島)

中之島センターONCのアドレスは大阪市北区中之島4丁目3番53号(〒530-0005)となっています。ご存じのように、ここは旧医学部跡地として、「水都大阪」のシンボルゾーンとも言える中之島の中心に位置しております。また、大阪大学の源流であると称されていて、大阪大学にとっては極めて関係の深い「適塾」と「懐徳堂」もこの中之島地区にありました。現在も「適塾」は大阪市中央区北浜3丁目3番8号に、「懐徳堂跡」が大阪市中央区今橋3丁目(日本生命本店ビル南面に懐徳堂旧跡の碑があります)にあり、いずれも中之島センターONCから散策して頂くことができます。

2.2 センター内施設

10階建ての中之島センターONCの各階の施設の概要について、そこで予定されている事業内容と合わせて説明します。

10F 佐治敬三メモリアルホール(194席)(図3)

サントリー元会長の佐治敬三様のご遺族から寄せられた多額の寄付金によって作られたホールで、後援会やシンポジウム等に利用できます。

9F 交流サロン(44席+カウンター6席)

ちょっと高級なクラブ感覚の交流サロンです。

ロイヤルホテルが営業する三つ星レストランのディナーコース(土・日・祝日はランチセットも)が楽しめます。

9F 特別会議室(12席)、会議室1(16席)、会議室2(16席)

大阪大学外からゲストを招いての少人数の会議などの開催に最適です。なお、会議室1,2は32席の会議室としても利用可能です。

8F ヘルスケア・クラブ

大阪大学医学部附属病院、大阪大学歯学部附属病院と結んで健康相談をするために、ベッドの置かれたコンサルテーション室が5室と採血、検査室などがあります。運営は有料の会員制となる予定です。地域医療連携室も開設されます。

8F コンサルタント室(2室)

大阪大学の研究成果(経済、経営、技術など)と社会を結ぶ産学連携を行う部屋が2室あります。

7F 講義室2(78席)、講義室3(57席)

いずれの講義室にも最新の遠隔講義システムが設置されているので、吹田、豊中キャンパスと結んだ講義が可能です。

7F セミナー室(48席+模擬法廷)(図4)

このセミナー室の最大の特徴は、模擬法廷のセットが置かれていることです。いわゆるロースクールの講義、演習が行われます。

6F-3F キャンパス・イノベーションセンター

この部分は文部科学省の管理下にあり、社会人を対象としたサテライトキャンパスと企業との産学連携の窓口となるリエゾンオフィスなどが開設されています。

2F カフェテリア・スコラ(66席)

一般の方々にも、手軽な価格で気軽にお食事を楽しんで頂けます。なお、このカフェテリアもロイヤルホテルの営業です。平日、土日祝日共に11:30~20:00までの営業を予定しています。

1F 情報サービス・展示コーナー

エントランスホールのゆったりとしたスペースを利用して情報サービス・展示のための扇形のブースが置かれています。ブースの内側では大阪大学の源流である適塾・懐徳堂の紹

介が行われ、外側では大阪大学の各学部、研究科、教育・研究組織の情報を提供しています。

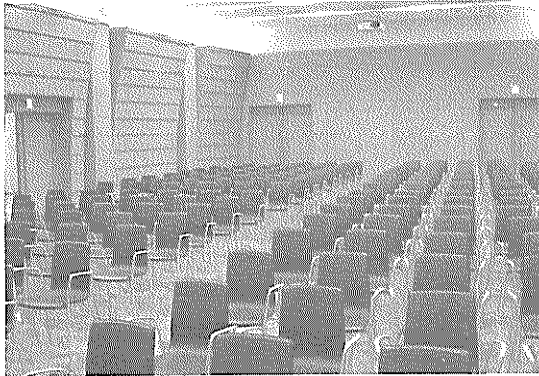


図3 佐治敬三メモリアルホール(10F)

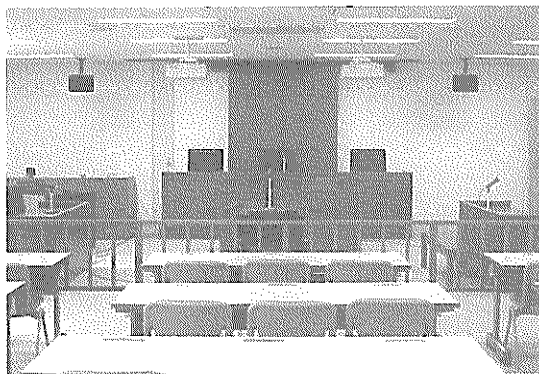


図4 模擬法廷(7F)

3. ONCでの活動

3.1 位置づけ

大阪大学中之島センターONCの大阪大学における位置づけについて説明します。ご存じのように、大阪大学の源流である適塾や懐徳堂にあっては自由な学問的気風を誇っていました。中之島センターONCでもこうした気風や先見性を受け継いだ活動を展開します。従って、「平成の適塾・懐徳堂」のスタートであると位置づけております。

別の見方をしますと、吹田、豊中に次ぐ「第3のキャンパス」が中之島に開設されたとも考えられます。中之島センターONCでは最先端のIT機器の利用によって、1つのキャンパスに匹敵するだけの活動を目指しております。但し、吹田、豊中キャンパスでの活動とはその対象が異なっていて、社会人、

一般市民(中、高校生も含む)、同窓会や後援会の会員、海外の大学生などを中之島センターONCでは想定しています。

3.2 活動計画

中之島センターONCで計画されている本年度の事業予定について現状を報告致します。ここでは3つの基本機能に分けて紹介します。

(1) 教育・研究機能に対する事業

- 高度職業人講座 …… ビジネスマン、技術者、研究者などにブラッシュアップのための高度専門講座を25講座開設する
- 昼夜開講制大学院 …… 社会人を対象とした大学院の授業を開設する。今年度はロースクールや21世紀COEプログラムを中心に8講座を予定している。

(2) 社会への情報発信機能に対する事業

- 中之島情報センター …… プラズマディスプレイを利用して適塾と懐徳堂を紹介すると共に、大阪大学の教育・研究情報をパンフレット展示によって行う。
- コンサルタント業務 …… 担当部局と時間帯を記入したスケジュール表を掲示し、事前予約の上でコンサルタント事業に取り組む。
- 海外向け情報発信 …… 海外向けの遠隔地教育を中之島センターに集結させて、より本格的なものへと発展させる。

(3) 社会との交流機能に対する事業

- 一般市民向け講座、文化・学術講演会やシンポジウム …… 適塾記念講演会、懐徳堂古典講座、大阪大学中之島講座(従来のおおさか大学開放講座)、公開講座など31企画が予定されている。
- ヘルスケア・クラブ …… 大阪大学医学部附属病院、大阪大学歯学部附属病院と結んで、健康管理の支援を中心に活動を展開する。次年度には医療(外来業務限定)の実施をも目指す予定になっている。
- 同窓会、後援会へのサービス …… 本年度については広報活動に努め、大阪大学中之島センターのオープンを広く周知させると共に、利用を呼びかけることにする。

4. さらなる夢を求めて

大阪大学中之島センターONCはオープンしたば

かりですが、ここでは3年後の状況を「さらなる夢」として描いてみることにします。

- 高度職業人講座 …… 産業界からのニーズの高いテーマについて解説し、規定通り出席した場合には、大阪大学の修了証を発行する。
- 昼夜開講制大学院 …… 社会人を対象とした大学院を本格的に開設する。
- 中之島情報センター …… 中之島センターから各部局の広報用ウェブページへのアクセス手段を提供し、最新情報の収集を可能にする。
- コンサルタント業務 …… より組織的な産学連携の場へと発展させる。
- 海外向け情報発信 …… 海外キャンパスなどを展開し、現地の学生に卒業資格、修了資格を授与する。
- 一般市民向け講座 …… 大阪大学らしさを反映

した上で、一般市民を会員制で受け入れ、総合的な学習の場を提供する。

- ヘルスケア・クラブ …… 会員制での運営を目指し、会員の診療履歴を電子カルテ化して、どこにいてもきめ細かい健康管理が受けられるようにする。
- 同窓会、後援会へのサービス …… 中之島センターの内部に同窓会事務局のためのスペースを確保すると共に、全学規模での同窓会を発足させ、同窓会、後援会の会員へのサービスを本格化させる。

ここで述べました夢のなるべく多くが実現するように努力する所存であります。大阪大学の教職員、同窓会、後援会会員の皆様方から中之島センターONCに対してより一層のご助言とご支援がいただけますように切にお願い申し上げる次第です。

